

1 (1) この和は、第 k 項が $(2k)^2$ である数列の、初項から第 n 項までの和であるから

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n (2k)^2 &= \sum_{k=1}^n 4k^2 = 4 \sum_{k=1}^n k^2 \\ &= 4 \cdot \frac{1}{6} n(n+1)(2n+1) \\ &= \frac{2}{3} n(n+1)(2n+1) \end{aligned}$$

(2) この和は、第 k 項が $k(k+1)(2k+1)$ である数列の、初項から第 n 項までの和であるから

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n k(k+1)(2k+1) &= \sum_{k=1}^n (2k^3+3k^2+k) = 2 \sum_{k=1}^n k^3 + 3 \sum_{k=1}^n k^2 + \sum_{k=1}^n k \\ &= 2 \left[\frac{1}{2} n(n+1) \right]^2 + 3 \cdot \frac{1}{6} n(n+1)(2n+1) + \frac{1}{2} n(n+1) \\ &= \frac{1}{2} n(n+1) \{ n(n+1) + (2n+1) + 1 \} \\ &= \frac{1}{2} n(n+1)(n^2+3n+2) \\ &= \frac{1}{2} n(n+1)^2(n+2) \end{aligned}$$

2 数列の第 k 項を a_k 、初項から第 n 項までの和を S_n とする。

(1) $a_k = 2 + 4 + 6 + \dots + 2k = \sum_{i=1}^k 2i = 2 \cdot \frac{1}{2} k(k+1) = k(k+1)$

$$\begin{aligned} S_n &= \sum_{k=1}^n k(k+1) = \sum_{k=1}^n (k^2+k) \\ &= \frac{1}{6} n(n+1)(2n+1) + \frac{1}{2} n(n+1) \\ &= \frac{1}{6} n(n+1)(2n+1+3) = \frac{1}{6} n(n+1)(2n+4) \\ &= \frac{1}{3} n(n+1)(n+2) \end{aligned}$$

(2) $a_k = 1 + 3 + 9 + \dots + 3^{k-1} = \frac{3^k - 1}{3 - 1} = \frac{1}{2}(3^k - 1)$

$$S_n = \sum_{k=1}^n \frac{1}{2}(3^k - 1) = \frac{1}{2} \left(\sum_{k=1}^n 3^k - \sum_{k=1}^n 1 \right) = \frac{1}{2} \left\{ \frac{3(3^n - 1)}{3 - 1} - n \right\} = \frac{1}{4}(3^{n+1} - 2n - 3)$$

3 (1) 階差数列は 1, 2, 3, 4, …… となるから、この数列の第 k 項は k
 $n \geq 2$ のとき、もとの数列の第 n 項 a_n は

$$a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} k = 2 + \frac{1}{2}(n-1)n \quad \text{すなわち} \quad a_n = \frac{1}{2}(n^2 - n + 4) \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

初項は $a_1 = 2$ であるから、 $\textcircled{1}$ は $n = 1$ のときにも成り立つ。

よって、もとの数列の第 n 項は $\frac{1}{2}(n^2 - n + 4)$

(2) 階差数列は 1, 4, 9, 16, …… となるから、この数列の第 k 項は k^2
 $n \geq 2$ のとき、もとの数列の第 n 項 a_n は

$$a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} k^2 = 1 + \frac{1}{6}(n-1)n(2n-1)$$

すなわち $a_n = \frac{1}{6}(2n^3 - 3n^2 + n + 6) \quad \dots\dots \textcircled{1}$

初項は $a_1 = 1$ であるから、 $\textcircled{1}$ は $n = 1$ のときにも成り立つ。

よって、もとの数列の第 n 項は

$$\frac{1}{6}(2n^3 - 3n^2 + n + 6) \quad \left[\frac{1}{6}(n+1)(2n^2 - 5n + 6) \text{ でもよい} \right]$$

(3) 階差数列は -2, -4, -6, -8, …… となるから、この数列の第 k 項は $-2k$
 $n \geq 2$ のとき、もとの数列の第 n 項 a_n は

$$a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} (-2k) = 10 - 2 \cdot \frac{1}{2}(n-1)n$$

すなわち $a_n = -n^2 + n + 10 \quad \dots\dots \textcircled{1}$

初項は $a_1 = 10$ であるから、 $\textcircled{1}$ は $n = 1$ のときにも成り立つ。

よって、もとの数列の第 n 項は $-n^2 + n + 10$

(4) 階差数列は 1, 3, 9, 27, …… となるから、この数列の第 k 項は 3^{k-1}
 $n \geq 2$ のとき、もとの数列の第 n 項 a_n は

$$a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} 3^{k-1} = 1 + \frac{3^{n-1} - 1}{3 - 1} \quad \text{すなわち} \quad a_n = \frac{1}{2}(3^{n-1} + 1) \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

初項は $a_1 = 1$ であるから、 $\textcircled{1}$ は $n = 1$ のときにも成り立つ。

よって、もとの数列の第 n 項は $\frac{1}{2}(3^{n-1} + 1)$

4 (1) 初項 a_1 は $a_1 = S_1 = -2$

$n \geq 2$ のとき

$$a_n = S_n - S_{n-1} = (n^2 - 3n) - \{(n-1)^2 - 3(n-1)\}$$

よって $a_n = 2n - 4 \quad \dots\dots \textcircled{1}$

$\textcircled{1}$ で $n = 1$ とすると $a_1 = -2$ が得られるから、 $\textcircled{1}$ は $n = 1$ のときにも成り立つ。

したがって、一般項は $a_n = 2n - 4$

(2) 初項 a_1 は $a_1 = S_1 = 3$

$n \geq 2$ のとき

$$a_n = S_n - S_{n-1} = (n^3 + 2) - \{(n-1)^3 + 2\}$$

よって $a_n = 3n^2 - 3n + 1 \quad \dots\dots \textcircled{1}$

$\textcircled{1}$ で $n = 1$ とすると $a_1 = 1$ となり、 $\textcircled{1}$ は $n = 1$ のときには成り立たない。

したがって、一般項は $a_1 = 3, n \geq 2$ のとき $a_n = 3n^2 - 3n + 1$

(3) 初項 a_1 は $a_1 = S_1 = 4$

$n \geq 2$ のとき

$$a_n = S_n - S_{n-1} = (2^{n+2} - 4) - (2^{n+1} - 4)$$

よって $a_n = 2^{n+1} \quad \dots\dots \textcircled{1}$

$\textcircled{1}$ で $n = 1$ とすると $a_1 = 4$ が得られるから、 $\textcircled{1}$ は $n = 1$ のときにも成り立つ。

したがって、一般項は $a_n = 2^{n+1}$